

JLTA Newsletter
日本言語テスト学会
The Japan Language Testing Association

JLTA Newsletter No. 9 発行代表者：大友 賢二 2001年(平成13年) 5月21日発行
発行所：日本言語テスト学会 (JLTA) 事務局
〒389-0813 長野県埴科郡戸倉町芝原 758 TEL 026-275-1964 FAX 026-275-1970
e-mail: youichi@avis.ne.jp URL: <http://www.avis.ne.jp/~youichi/JLTA.html>



「日本言語テスト学会」への改名に寄せて

会長 大友賢二

(常磐大学教授・筑波大学名誉教授)

2001年4月1日をもって、これまでの「外国語教育評価学会」が「日本言語テスト学会」と生まれ変わりました。英語名は、従来どおり、The Japan Language Testing Association: 略称 JLTA です。JLTA は 1996年12月に誕生しているので、それからすでに4年3ヶ月の月日が流れております。

「外国語教育評価学会」という名称で出発したのは、いきなり言語テストというと、興味があっても、それが私の専門です、とって会員になる方はあまりおられないのではないかと、という心配があったからです。また「外国語教育」を「評価する」学会というような明確でない印象を与えはしないかという心配もありました。

しかし、この2つの心配はさほど大きな問題ではなかったようです。JLTA は4年3ヶ月の間、会員の献身的な努力によって、すくすくと成長してまいりました。1999年のThe 21st Language Testing Research Colloquium: 略称 LTRC 99 や2000年のETS (Educational Testing Service) と共催の JLTA Language Testing Workshop など、これまでのわが国の歴史では見られなかった言語テストの国際的研究活動を展開するにいたりました。

この時点で、本来の姿を示す「日本言語テスト学会」と改名することにいたしました。日本における言語テスト研究の中心となる学会「日本言語テスト学会」の名にふさわしいさらなる発展ができるよう、会員の皆様、および関係する多くの方々の、ますますのご指導とご協力をお願いするものです。

学会名の変更と併せて、会則の改訂が 2000 年度の総会で決定されました。以下、新しい会則を掲載いたします。

日本語テスト学会 会則

- 第 1 条 本会は、日本語テスト学会 (The Japan Language Testing Association: 略称 JLTA) と称する。
- 第 2 条 本会は、外国語能力の測定と評価に関する理論の研究を深め、その応用・実践を推進して、国際社会の外国語教育発展に寄与することを目的とする。
- 第 3 条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- (1) 研究例会、全国研究大会、セミナー等の開催
 - (2) 国際会議、国際ワークショップ等の開催
 - (3) Newsletter, 研究紀要等の発行
 - (4) その他、本会の目的達成のために必要な事業
- 第 4 条 本会の会員は、本会の趣旨に賛同した一般会員、賛助会員、ならびに名誉会員から成る。
- 第 5 条 入会金は 1,000 円、年会費は一般会員(個人) 10,000 円、賛助会員(企業、各種団体等) は一口 50,000 円とする。名誉会員の入会金・年会費は不要とする。
- 第 6 条 本会を運営するため次の役員会と委員会を設置する。役員及び委員の選出・委嘱の方法とその任務は次のとおりとする。また、その任期は 2 年とし、再任は妨げない。
- (1) 会 長 1 名: 役員会の推薦で選出され、会務を総括する
 - (2) 副 会 長 2 名: 役員会の推薦で選出され、会長を補佐する
 - (3) 事務局長 1 名: 会長の委嘱により、庶務・会計等を担当する
 - (4) 理 事 若干名: 会長の委嘱により、本会運営の基本方針を審議する
- 委員は、会長の委嘱により、該当する活動の実務を担当する
- 編集委員 若干名: 研究紀要の編集(査読を含む)
- 広報委員 若干名: Newsletter の編集・PR・(HP)
- 研究会運営委員 若干名: 研究例会・全国研究大会の企画・運営
- 会計監査委員 若干名: 本会の会計監査
- 第 7 条 本会は年 1 回定期総会を開くものとする。
- 第 8 条 役員の変更は総会の承認を受けるものとする。
- 第 9 条 本会の経費は、会員の会費、寄付金、その他の収入をもって、会計年度は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わるものとする。
- 第 10 条 本会則の改正は、総会による承認を受けるものとする。

付則 本会則は 1998 年 8 月 1 日より施行する。
2001 年 4 月 1 日改訂・施行。

Constitution of the Japan Language Testing Association

- Article 1 The name of the association shall be The Japan Language Testing Association (abbreviated as JLTA).
- Article 2 The purpose of the association is to improve foreign language education by advancing research in the measurement and evaluation of foreign language proficiency and by facilitating the application of test theory and improving testing practice.
- Article 3 This association will conduct the following activities:
- 1) Hold study meetings, an annual national conference and seminars
 - 2) Host international conferences and workshops
 - 3) Publish a newsletter and a research journal
 - 4) Other activities in keeping with the purpose of the association.
- Article 4 This association shall have the following types of members:
Ordinary members
Institutional members (companies, other institutions)
Honorary members.
- Article 5 Entrance fee 1,000 yen, Yearly membership 10,000 yen, Institutional membership 50,000 yen per unit per year. Honorary members are not charged a fee.
- Article 6 The management of the association will be in the hands of the executive board and the committees made up of the following officers which will be selected/appointed as indicated. Each shall serve 2 years and re-election/re-appointment is permitted.
- (The executive board)
- 1) A president, elected at the executive board meeting of the association shall direct the association.
 - 2) Two vice-presidents, elected at the executive board meeting shall assist the president.
 - 3) A secretary general, appointed by the president shall handle the secretarial and business aspects of the association.
 - 4) Directors, appointed by the president shall establish the basic policy of the association.
- (The committees) The following committees, appointed by the president shall work for each activities.
Editorial committee shall edit the JLTA Journal.
Publicity committee shall issue the JLTA Newsletter, and shall do all the publicity activities needed, including the maintenance of the JLTA web pages.
Research meeting committee shall organize the JLTA research meeting and the JLTA annual conference.
Auditor committee shall audit the financial accounts of the association.
- Article 7 The association shall hold an annual meeting.
- Article 8 Those re-elected or re-appointed to the executive committee must be approved by the Annual Meeting.
- Article 9 The expenses of the association shall be paid out of membership fees, donations and other income. The fiscal year of the association shall be from April 1 to March 31.
- Article 10 Any revision of this constitution must be approved by the annual meeting.

These regulations come into force from August 1, 1998.
The revised version comes into force from April 1, 2001.

2001 年度役員

会 長	大友 賢二 (常磐大学・筑波大学名誉教授)
副 会 長	Randy Thrasher (国際基督教大学) 中村 優治 (東京経済大学)
事務局 長	中村 洋一 (常磐大学)
理 事	大友 賢二 (常磐大学・筑波大学名誉教授) Randy Thrasher (国際基督教大学) 中村 優治 (東京経済大学) 中村 洋一 (常磐大学) J. K. Hubbell (法政大学) 木下 正義 (福岡国際大学) 清川 英男 (和洋女子大学) 浪田 克之介 (北海道情報大学) 大坪 一夫 (麗澤大学) Steven Ross (関西学院大学) 根岸 雅史 (東京外国語大学)

新名譽会員

天野郁夫 (国立学校財務センター)
Hossein Farhady (Iran University of
Science and Technology)

編 集 委 員	Randy Thrasher (国際基督教大学) 浪田 克之介 (北海道情報大学) 清川 英男 (和洋女子大学) J. K. Hubbell (法政大学) Steven Ross (関西学院大学) 根岸 雅史 (東京外国語大学)
広 報 委 員	中村 洋一 (常磐大学) 木下 正義 (福岡国際大学) 渡部 良典 (秋田大学) 山崎 朝子 (武蔵工業大学) 木村 真治 (関西学院大学)
研究会運営委員	中村 優治 (東京経済大学) 島谷 浩 (熊本大学) 櫻井 敏子 (神戸松蔭女子学院大学) 智原 哲朗 (大阪女学院短期大学) Elizabeth Heiser (関西外国語大学) 法月 健 (静岡産業大学) 伊藤 彰浩 (愛知学院大学) 大坪 一夫 (麗澤大学) 小山 由紀江 (長岡技術大学) 塩川 春彦 (北海学園大学) 飛渡 洋 (国土館大学)
会 計 監 査 委 員	清水 裕子 (立命館大学) 竹村 雅史 (北海道札幌北高等学校)

以下、新役員の方々から、ご挨拶をいただ
ています。

浪田克之介 (北海道情報大学)

学会の日本語名の改称がたまたま新しい世紀の幕開きと重なりましたが、わが国のテストィングを取りまく環境に変化がみられるのは重要なことと思います。その一つは TOEFL のコンピュータ化ですが、加えて TOEIC 受験者数の増加、大学入試センター試験の利用拡大、一部大学の入試問題作成の予備校への委託、新たな日本語能力試験の実施予定などに、学会として、また個々の会員としてどう対処すべきでしょうか。みなで検討したい と思います。

清川 英男 (和洋女子大学)

このたび理事に選出され大変光栄に存じます。今まで公務のためにあまりお役に立てなかった私ですが、微力ながら学会のためにより働きたい と思います。よろしく お願いします。

木下 正義 (福岡国際大学)

本年度 4 月から学会名賞が「外国語教育評価学会」から「日本語テスト学会 (JLTA)」へ変更された。名は体を表すように本学会は日本の言語テストに関する専門家の集団であり、学問的・専門的な見地より言語テストについて研究・調査をした結果を全国大会や研究会を通じて、より深く掘り下げて行く学会でもある。

21 世紀は益々、国際化・情報化が進む中で一昨年度の JLTA 主催の LTRC 筑波大会では世界の言語テストに関する専門家の会議が開催され大成功をおさめた。JLTA は東アジアの中心的存在として今後は隣国の韓国・台湾・中国等の諸国と言語テストに関する情報の収集・交換に努力して欲しいし、近い将来に東アジア言語テスト研究大会の開催を望みたい。大学入試センター試験問題も他の隣国の問題と比較してみても、より信頼度・妥当性がありかつ経済的な問題作成に、JLTA メンバーが多数参加して貢献する日を期待したい。

第 13 回 JLTA 研究例会のご案内

日 時：2001 年 6 月 23 日（土）13:50～17:20

場 所：熊本大学 教育学部 345 教室

（熊本市黒髪 2-40-1）

参加費：会員・学生 無料・一般 1,000 円

日 程：

13:30～ 受付

13:50～14:00 開会式

総合司会 Randy Thrasher

（JLTA 副会長・国際基督教大学）

会場校挨拶 大迫 靖雄

（熊本大学教育学部長）

会長挨拶 大友 賢二

（常磐大学・筑波大学名誉教授）

14:00～15:20 ワークショップ

紹介 大友 賢二（JLTA 会長）

「テストデータ分析ワークショップ

ー古典的テスト理論と項目応答理論ー」

中村 洋一（JLTA 事務局長・常磐大学）

15:20～15:30 休憩

15:30～17:10 研究発表

発表 I （15:30～16:00）

「教室でのクローズ・テストの利用について」

高梨 芳郎（福岡教育大学）

発表 II （16:05～16:35）

「定期テストの質の向上に向けての一提案」

吉川 勝正（熊本学園大学）

発表 III （16:40～17:10）

「日本と台湾における大学英語入試問題の readability に関する比較分析 - 2001 年度大学入試センター試験と八十九年度大学総合
招生考試の英語読解問題を中心に -」

木下 正義（福岡国際大学）

大津 敦史（福岡大学）

17:10～17:20 閉会式

研究会総括 Randy Thrasher（JLTA 副会長）

閉会の挨拶 木下 正義（JLTA 理事）

懇親会 17:30～19:30 （くすの木会館）

* 会場近辺の詳しい情報を、JLTA の Web Page からリンクして提示しております。

JLTA 言語テスト特別講演会のご案内

日 時：2001 年 7 月 1 日（日）受付：12:30～13:00～14:30

場 所：東京経済大学 6 号館

（国分寺市南町 1-7-34）

題 目：English for Specific Purposes (ESP) Testing: State of the Art

講演者：Dan Douglas 博士（アイオア大学）

* 事前申し込み不要。

* 参加費：会員 無料・一般 1,000 円

講演者の Dan Douglas 博士は言語テストの専門家で、最も最近の著書に *Assessing Languages for Specific Purposes (CUP 2000)* があります。語学教育者の方はもとより広く言語テストに興味をお持ちの方もお誘い合わせの上、どうぞ奮ってご参加下さい。

問い合わせは、事務局、または、中村優治（東京経済大学、nkyj@tku.ac.jp）まで。

Call for Participation
The JLTA Language Testing
Special Lecture

Theme: English for Specific Purposes(ESP)
Testing: State of the Art

Speaker: Dr. Dan Douglas
(Iowa State University)

Date: July 1 (Sunday) 2001, 13:00~14:30
(Registration 12:30~)

Place: Tokyo Keizai University,
Building # 6

* No pre-registration needed.

* Fee: Member - Free, Non-member - ¥1,000

Dr. Dan Douglas is a language testing specialist and his most recent publication is *Assessing Languages for Specific Purposes (CUP: 2000)*. We welcome all those who are interested in language testing.

N. B. For further information contact the JLTA Secretary General, or Yuji Nakamura (Tokyo Keizai University, nkyj@tku.ac.jp).

